

## 2021年度 NBF東北ブロック主催大会 『大会開催の準備・実施の方針』（NBF東北モデル）

大会開催の可否は、国が公表する『4つのステージと6つの指標』に基づいて、東北ブロック長と主管県連が協議し、エントリーしている人数や県連数、大会経費見込み等により判断する。

（協議は、1ヶ月以上前から開始する。）

主管県連は、以下に示す『25項目の大会準備の方針や実施の方針』に基づき、大会開催の準備と実施に関する負担を抑えつつ、選手・役員が安心して参加できる大会を用意する。

※ 各県連は『コロナ渦』で準備する主管県連の努力に感謝し、大会の実施・運営に協力する。

（2020年11月21日：役員会決定）

### 【大会準備の方針】

- 大会における「参加賞」は出さない（参加賞なし）ことも「可」とする。
- 大会「パンフレット」の作成を、大会実施の必須要件としない。
  - 大会要項、競技規定、タイムテーブル、参加選手名簿等は、会場に貼り出す（掲示する）。
  - 前年度成績（前回優勝者等）は、次年度のパンフレットに2年分を掲載する。
- 横断幕、看板は作成しない。 ※ 但し、主管県連の判断で作成することを排除しない。
- 開会式における「整列」や「国歌吹奏」、「選手宣誓」は、行わない。
  - ※ 選手・役員等は、ボウラーズ・ベンチなどで適度に距離を取り、参加する。
  - 開会式は、主催者挨拶、主管県連挨拶、簡易な競技説明・注意事項（詳細は掲示）、優勝杯返還（レプリカ贈呈）とする。（当然、全員がマスク着用）
- 表彰式は、以下のとおり行う。
  - 表彰式は優勝杯と賞状を贈呈し、副賞については後日、主管県連から宅配（又は郵送）により、送付する。（写真撮影時には、マスクを外す。）
  - 参加人数が極端に少ない場合、副賞にかかる費用は、減額（0円も含めて）を認める。（副賞にかかる予算は、主管県連とブロック長で協議する。）
- 東北ブロックにおける主催3大会の2019年優勝者（優勝チーム）の「招待」権利は、2021年の東北ブロック主催3大会に持ち越して認める。  
なお、2021年度の開催が中止となった場合には、さらに2022年に持ち越すものとする。
- 大会は1BOXあたり4名までを基本とし、レーン数に応じて各県に「参加枠」を設定する。
  - ※ 2020年（前年）12月末現在の会員数に応じて、各県連の参加人数を按分する。
  - 参加枠までの選手を出せない県連があった時の「再配分」は、主管県連に一任する。
- 参加費は大会当日に集金するので、各県連役員は選手から事前に集金するなどの対応をする。いわゆる「ドタキャン」で参加しなかった（できなかった）選手の参加費は、免除する。
  - 参加費返還期限の「東北ブロック申し合わせ」の例外事項とする。
- 参加希望者は、各県連において「参加希望シフト」を明記して、参加の申し込みをするが、各シフトのレーン抽選は、主管県連における「事前抽選」で決定する。
- 大会の主催者は、コロナの感染状況（クラスター等）で直前に大会を中止する可能性もあるので、センターから、その「可能性」を踏まえた予約・開催が可能か否か、確認しておく。

## 【 大会実施の方針 】

- 1 1. 会場センターでは、建物の入口に「消毒用アルコール」を設置し、手指の消毒を義務づける。  
できれば入口以外にも複数箇所に設置し、こまめに消毒できるように準備する。
- 1 2. 大会関係者（参加選手・役員等）は、会場に入る際に必ず「検温」して、37.5℃以上の発熱がある者は会場への入場を認めない。
- 1 3. 受付は、県連・シフト別に各県連の代表者（役員）が選手の集合を確認して、まとめて行う。  
※ 選手個々の受付やレーン抽選等を行わない。
- 1 4. 選手は、投球時以外は「マスク着用」を必須の要件とし、「ハンドタッチ」は禁止とする。  
※ マスクは、投球時のみ外すことを認めるが、投げ終わったらB o x内でも着用する。  
また、投球時に発する大きな声は、控えるよう注意する。
- 1 5. スコア集計は、コンピュータ集計とする。  
個々の選手は、1ゲーム毎に自身のスコアを画面上で確認し、集計結果に疑義が生じないよう選手個人の責任において確認する。（集計後の申告は認めない。）  
スコア表示に誤りを発見した場合は、「利害の反する他の競技者」に申し出て、確認した上で、スコアを修正する事が出来る。 また、確認する相手は、他のB o xの選手でもかまわない。
- 1 6. 「競技委員」は配置せず、競技の判定はボックス内の複数人の「利害の反する他の競技者」により判定し、「ピンの再配置、スコア修正」は、センタースタッフ等に依頼する。
- 1 7. センター内での食事（昼食等）は、極力行わない。（主管県連の運営スタッフ等は除く。）  
※ 自家用車等の活用をお願いする。
- 1 8. 県連旗の掲揚はしない。（持参しない。）
- 1 9. ボールバッグは、2個以内とする。（1個入れ、2個入れ、3個入れを問わず。）  
注 「ボールバッグ」に入れていない場合は、ボール1個を「1バッグ」と見なす。
- 2 0. 会員証、ボール検量証の確認は行わない。（各所属県の責任で「事前確認」を要請する。）
- 2 1. シフト間の「待機時」は、個々の選手の責任において『3密』を避けて待機する。  
※ 同行者や観戦者による応援等も「自粛」を要請する。
- 2 2. 十分な換気が行えるよう、出入口や窓の開放等について、センターと相談して対応する。
- 2 3. 主管県連は、体調不良を訴える選手・役員等が出た場合に備えて、保健所や休日診療を行っている最寄りの「病院または医院」の連絡先と地図等を用意しておく。
- 2 4. 大会が開催された場合の「役員会議」は、開催の可否を前日または当日に決定する。  
※ 役員会議は、開催する前提で、案内や会場等を準備しておく。
- 2 5. 宿泊先の予約等については、個人の責任において数日前のキャンセルでも「キャンセル料」が発生しない宿泊先を確保するなど、各県連で参加する選手・役員に周知・徹底すること。  
  
※ 各県連の役員は、参加予定の選手・役員等の電話番号やメールアドレス等を把握しておいて、直ちに関係者に通知できる体制を構築しておくこと。

【 上記の条項（方針）は、東北ブロック主催のすべての事業に共通的に適用し、  
本条項によりがたい場合は、その都度ブロック長と関係者等によって協議し、判断する。】